



みんなで探して 発見！ 身近な自然

いつもいきものの情報をありがとうございます。
いただいた情報は、貴重な記録として集約いた
しております。紙面の都合上
全部をご紹介できないことを
お許しください。みなさんが
発見したいきものや自然情報
をご紹介します！みなさんは
どんな発見をしましたか？
ふりかえてみましょう！

今年はどんな発見
があったかな？



区民による身近な生物調査ロゴマーク

春にのみ見られるチョウで、北海道
から九州まで広く分布します。オスは
翅の先が黄色いですが、メスはこの
黄色がなく白いので区別できます。



ツマキチョウ（シロチョウ科）

4月3日 ワスレナグサの花で吸蜜するツマキチョウ
のオス。（目黒本町1丁目通信員）

都市部でも見られるカエル。
本来関東に分布している
アズマヒキガエルと西日本に
分布するニホンヒキガエルが
交雑をしているため区別が
むずかしくなっています。東
京都部準絶滅危惧種です。



ヒキガエル（ヒキガエル科）

4月21日 菅刈公園の池から採取したヒキガエルの卵は
すっかりカエルになってきました。（青葉台1丁目通信員）

2020 みんなの発見

今年は6月11日までに565件の情報
が寄せられました。もっとも多かった
のは鳥類で、26種92件でした。

花を包む器官の
形が「ひしゃく」
に似るのが名の
由来です。

カラスビシャク（サトイモ科）

5月14日 草取りをしていてカラスビシャク
を見つけました。（大岡山2丁目通信員）

巣を作らず、ササなどの葉の
上ですばやく歩き回り獲物を
捕まえます。



ササグモ（ササグモ科）

5月27日 屋上にて
（鷹番3丁目通信員）

公園などで群れている種とは
違い樹上で「デデッポポー」
と鳴くのが本種です。



キジバト（ハト科）

2月11日 巣には子どもが1羽だけいます。
結構大きくなっていました。
（柿の木坂3丁目通信員）

早春に出る本種の
胞子茎のことを土筆
（つくし）と言います。



スギナ（トクサ科）

3月9日 歩道の植え込みで土筆が出ている
ことに気づきました。（目黒本町2丁目通信員）



本州に広く分布するヘビ
で毒はありません。
成長すると2m位になり、
鳥のヒナなどを食べます。

アオダイショウ（ナミヘビ科）（幼蛇）

5月12日 塀で蛇をみました。しばらくして
みえなくなりました。（大橋2丁目通信員）

いきもの情報募集中！

2020 年は「水辺のいきもの」をテーマに身の回りのいきものを調べてみましょう。見つけたら下記の記録票に記入し、みどりの係までお送りください。写真がある場合は一緒にお送りください。

水辺のいきものをさがしてみよう！

水辺には様々な植物が生育しています。その植物を様々な動物が利用し生息しています。募集する種類と出現時期、見つけるポイントをヒントに、たくさん撮影してみましょう！

募集する種類・情報	出現する時期や見つけるポイント
① トンボ類（成虫・ヤゴ）	5～9月 ※種類によって出現時期は変わります
② 水生昆虫（アメンボ類・ゲンゴロウ類）	通年
③ メダカ	通年
④ アメリカザリガニ	通年：泥の中や水底の落ち葉の下
⑤ 水辺にいる鳥類（カモ、サギ、カワセミ）	通年
⑥ 水辺で生育する植物	通年：スイレンの花は夏、ガマの穂は9～10月
⑦ ①～⑥が見つかった場所の写真	①～⑥を観察した時に一緒に撮影しよう！



ショウジョウトンボ



オニヤンマ（ヤゴ）



ヒメゲンゴロウ



メダカ



アメリカザリガニ



カルガモ



ハンゲショウ



ガマ

記録票

自然通信員番号：

お名前：

上記以外のいきものの情報もお待ちしてます！

見つけた いきものの種名	いつ (年・月・日)	どこで（公園名。ご自宅は『庭』とだけ、緑道・川は町名と番地まで記入します）	観察した内容（数や様子など）、 いきものたちへのメッセージ



◆観察情報や写真は郵便・FAX・メールでみどりの係までお送りください。みなさんからの情報をお待ちしております♪



例年のいきもの発見隊のかわりに区の職員を中心に調査を実施しました。
魚類はボラとヒメダカのみで、合計 16 種類のいきものを発見しました。

発見したいきもの

- ・ヒメダカ (1 尾)
- ・ボラ (目視のみ・多数)
- ・ミシシippアカミガメ (1 頭)
- ・ヒキガエル (1 匹)
- ・クロベンケイガニ (抜け殻)
- ・アメリカザリガニ (1 匹)
- ・カワリヌマエビ属の 1 種 (1 匹)
- ・ヨコエビ目の 1 種 (1 匹)
- ・ミズムシ亜目の 1 種 (7 匹)
- ・コマツモムシ (1 匹)
- ・アメンボ科の 1 種 (2 匹)
- ・カワゲラ目の 1 種 (1 匹)
- ・ユスリカ科の 1 種 (多数)
- ・サカマキガイ科の 1 種 (1 匹)
- ・カワニナ科の 1 種 (4 匹)
- ・シマイシビル (2 匹)



コマツモムシ

ボラ

カワニナ科の 1 種

いきもの住民会議 2020 開催します！参加者募集方法はこちら

『かくれんぼ上手な水辺のいきものを探そう！』をテーマに身近な公園にも多様ないきものが生息できる水辺環境があることを体感できる観察会を 9 月に開催します！ふるってご参加ください。

※開催にあたっては、コロナ感染症対策へのご協力をお願いします。

日時 令和 2 年 9 月 12 日 (土) 10:00 ~ 12:00
(予備日：9 月 13 日 (日))

場所 会場：林試の森公園サービスセンター
現地：林試の森公園内流れのある池

天候 実施当日小雨の場合は決行、台風など荒天の場合は室内で座学を実施

人数 定員 20 名 (10 組程度)

※小学 3 年生以上の自然通信員 (問い合わせ時点で通信員でない場合は通信員への登録をしてから応募)

※小学 3 年生以下の自然通信員は保護者同伴の場合参加可とする。
大人の自然通信員の付き添いが小学 3 年生以下の子どもの場合も参加可とする。

申込 ハガキ・FAX に「いきもの住民会議 2020」と明記の上、住所・参加者全員の氏名 (ふりがな) と年齢・電話を書いて 8/20 (木) (必着) までに、みどり土木政策課 みどりの係 (〒153-8573 目黒区役所、FAX: 03-3792-2112) へ

調査地の様子

林試の森公園の中の流れのある池に入って捕獲をする予定です。普段は入ることができない貴重な機会です。



◆定点観測員になりませんか？



公園や自宅のお庭など身近な場所を観測地として決めていただき、桜の開花やチョウやセミ、ツバメなどを初めて見たり声を聞いたりした日など、四季の変化を継続的に観察していただける方を、『定点観測員』として募集しています。定点観測員にご登録いただいた方には目黒区いきもの住民台帳を送付いたします。定点観測員に登録したい、興味がある方はみどりの係までご連絡ください。自然通信員の皆様のご参加をお待ちしております。

2020 年 8 月 7 日発行

目黒区みどり土木政策課みどりの係
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15
TEL: 03-5722-9355
FAX: 03-3792-2112
メール: sizen@city.meguro.tokyo.jp
【作成】(株)自然教育研究センター

いのち わ ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画



目黒区は、自然と共生するまちを目指し、2014(平成 26)年 3 月に「目黒区生物多様性地域戦略 ささえあう生命(いのち)の輪(わ) 野鳥のすめるまちづくり計画」を策定しました。本計画は、野鳥を自然環境のシンボルとしてとらえ、人と自然が共存できる質の高いみどりのまちづくりを、区民とともに実現しようとするものです。目黒区では、本計画の普及、及び自然的環境の保全・回復を図るため、野鳥のすめるまちづくり運動を推進しています。

■短期目標の指標評価について

本計画では、本計画の普及や生物多様性の確保(保全・回復)等に関する対象期間を 2032(令和 14)年、短期目標の目標年を世界で取り組んでいく愛知目標の目標年である 2020(令和 2)年としています。

その間の進み具合は、設定した指標に対する実績など、主に数値による進行管理を行うことで 3 つの目標の達成具合を確認します。この評価を基に本計画の目標の見直しや必要な改定を行います。なお、次の目標達成具合の確認は 2026(令和 8)年に行います。

■評価の方法

本計画では 3 つの目標について策定当初に設定した「短期目標の指標」の 2018(平成 30)年度時点の達成状況で評価します。

目標	短期目標の指標	達成状況	評価												
目標1 みどりの風景をまもり、いきものにやさしさのある環境をつくりまします	野鳥の年間確認種数 50 種を維持し、70 種を目指す 	53 種 ※策定当初 2013(平成 25)年 52 種	50 種を維持しているものの、策定当初から微増の状況です。44 種から 57 種の間で推移しています <table><tr><td>年</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>確認種数</td><td>50</td><td>52</td><td>44</td><td>57</td><td>53</td></tr></table> 70 種を目指すため、野鳥のすめるみどり豊かな環境を育成し、みどりをつなげる取組が必要です	年	26	27	28	29	30	確認種数	50	52	44	57	53
年	26	27	28	29	30										
確認種数	50	52	44	57	53										
	タンポポ、ツバメ等の指標 在来生物種の分布率 37%→50%	45.7%	- 目標達成に至っていないものの、毎年分布率は増加しており、短期目標の 50%には着実に近づいています <table><tr><td>年</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr><tr><td>分布率(%)</td><td>42.1</td><td>43.2</td><td>43.8</td><td>45.4</td><td>45.7</td></tr></table> - 引き続き在来種が生息できる環境を保全・回復する取組が必要です	年	26	27	28	29	30	分布率(%)	42.1	43.2	43.8	45.4	45.7
年	26	27	28	29	30										
分布率(%)	42.1	43.2	43.8	45.4	45.7										
目標2 自然とのふれあいを大切にしたいめぐる暮らしを未来に伝えます	世論調査における「生物多様性」の言葉の認知度 36.8%→80%	50.9% ※2017(平成 29)年度目黒区世論調査	- 策定当初より認知度が増加していますが、2014(平成 26)年度世論調査での 58.3%からは減少しています - 言葉の普及啓発をより図るとともに、一人ひとりが生物多様性に配慮した行動を実践する必要があります												
目標3 すべての主体があらゆる活動で「ささえあう生命(いのち)の輪(わ)」の確保を目指した協力と連携を行います	グリーンクラブなど公園等で活動を行う登録団体数 106 団体→120 団体	112 団体	- 策定当初から 6 団体増加しましたが、目標達成には至っていません - 登録団体をより一層支援し、団体間の連携を図る必要があります - 活動の輪を広げるため情報発信が必要です												
	いきもの住民会議(活動団体・自然通信員等の研修、交流)開催の継続	開催	- 毎年 1 回実施しています - 今後も継続して実施し、身近ないきものを知り共有する場を提供することが必要です												

募集中!

水辺のいきもの情報を募集しております！特にトンボやヤゴの情報は歓迎です。
お近くの池やビオトープをのぞいてみてください。皆様からの情報お待ちしております♪